

# 病害虫防除技術情報第9号

令和4年7月15日

三重県病害虫防除所

**水稻いもち病の発生が確認されています。  
葉いもちの発生状況を確認し、適期防除を徹底してください。**

1. 対象作物 : 水稻

2. 対象病害虫名 : いもち病(葉いもち・穂いもち)

## 3. 発生状況

(1) いもち病発生予測支援システム(ブラスタム)によると、6月中下旬に感染好適日が断続的に出現しています。その後7月上旬には、準感染好適日が出現してきています。

(2) 7月の早期水稻を主体とした巡回調査では、発生圃場率は23.8%、(平年8.3%)、発病株率は4.7%(平年1.8%)となり、平年に比べ高くなっています。

(3) 1か月予報(7月14日・名古屋地方气象台発表)によると、期間前半の気温は平年並、降水量は期間を通してやや多いとされています。

(4) 松阪市における4月25日移植のコシヒカリの出穂期は、7月14日となりました。葉いもちの発生が多い場合は、穂いもちの発生リスクが高くなります。

(5) 特に中山間部の水田や、業務用米等の多肥栽培を行う品種(特にいもち病に対し罹病性の高い品種)での発生が多くなると予想されます。

## 4. 防除対策

(1) 葉いもちが発生している圃場では発見次第、防除を徹底しましょう。穂いもち防除は予防散布が原則です。出穂前および穂揃期に薬剤散布しましょう。

(2) 薬剤散布をする時は、天気予報を参考に、カメムシのとの同時防除を考慮し、周囲に飛散しないよう防除を行いましょ。

(3) 追加防除を行う場合は、農薬使用回数に注意しましょ。

(4) 薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>

(5) 飼料用水稲や業務用米などの普通期水稻は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。

(6) QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)の使用は最大年 1 回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。

(7) QoI 剤を使用したにもかかわらず、ずり込み症状などの病徴があれば、病虫害防除所、農業研究所、農業改良普及センター等へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！